

令和３年度 中高生勉強会「学びｉプレイス」実施報告

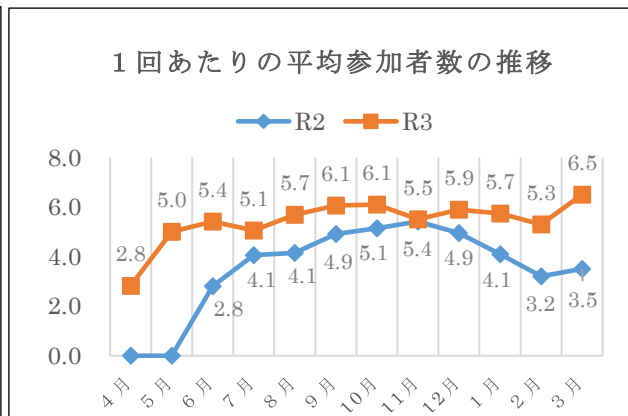
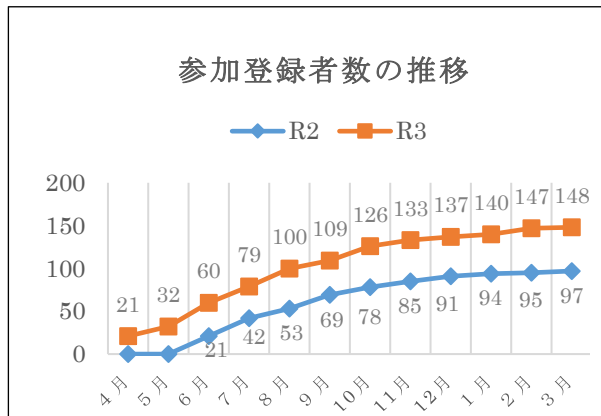
中学生及び高校生（相当年齢の者を含む）に学習の場を提供し、大学生等のボランティアによる学習支援と相互交流をとおして、社会性や自己肯定感を育む場となる中高生の居場所づくりを目的に中高生勉強会「学びｉプレイス」を実施したので、その結果について報告する。

１ 実施期間

令和３年４月１３日から令和４年３月１１日まで。

２ 日時・会場・実施回数・参加状況

会 場	曜日	時 間	回数	登録者数	延参加者数	前年度 延参加者数
まなぼーと大原	火	18：00～20：00	4 4	2 3	1 7 9	1 1 6
高島平図書館	水	17：00～19：00	3 6	2 0	2 3 9	2 6 7
教育支援センター		18：00～20：00	4 1	3 1	3 0 8	1 7 6
中央図書館	木	17：00～19：00	3 6	5 8	2 1 5	7 7
まなぼーと成増	金	18：00～20：00	4 3	1 6	1 6 0	7 7
計			2 0 0	1 4 8	1,101	7 1 3



３ 学年別参加状況（各会場における学年別延参加者数）

会 場	中 学 生 (72%)			高 校 生 (28%)				計
	7 年 (20. 9%)	8 年 (24. 9%)	9 年 (26. 5%)	1 年 (6. 7%)	2 年 (18. 9%)	3 年 (1. 9%)	相当者 (0%)	
まなぼーと大原	38	79	55	4	3	0	0	179
高島平図書館	30	18	24	0	167	0	0	239
教育支援センター	65	105	115	8	2	13	0	308
中央図書館	23	69	65	17	33	8	0	215
まなぼーと成増	75	3	33	45	4	0	0	160
学年別計	231	274	292	74	209	21	0	1, 101
中高別計	797			304				

4 委託事業者

特定非営利活動法人 キッズドア

5 委託料

11,088,000円

6 実施状況

令和3年度も昨年度に続きコロナ禍にあったが、本事業は、4月から開始し、令和4年3月まで通年で開催した。

中央図書館会場、高島平図書館会場では、館の感染防止対策による施設の利用制限のため中止となった期間があったが、実施可能な会場での回数を増やし、継続的な事業実施により、中学生・高校生に学習機会と居場所の提供を行った。

(1) 会場ごとの実施回数の変更

当初の計画では、5会場で各40回（計200回）の実施を計画していたが、中央図書館会場、高島平図書館会場では、新型コロナウイルス感染症防止対応のため4月25日以降5月中の施設利用が制限されたため、この間は両会場での事業は中止とした。その間も他の3会場では、事業を継続して実施した。

会場ごとに調整し、前頁の2で示したとおり、実施回数を変更しつつ、可能なかぎり実施に努め、全体として、200回開催した。

(2) 感染防止対策

本事業では、実施にあたり、各実施会場で毎回、以下の感染防止対策を実施した。

①口頭及び掲示による防止対策の周知、②アルコールでの清拭による机・椅子等の消毒、③手指消毒の徹底、④体調確認（検温等）、⑤マスク着用の徹底、⑥会場の換気、⑦間隔を確保した座席配置、⑧密集の回避、⑨各日の出席者の把握

(3) 中高生の参加状況

令和3年度の参加者数は、コロナ前の状況には及ばないものの、令和2年度との比較では、参加登録者数及び延参加者数ともに増加した。

新型コロナウイルスの感染拡大に伴い、総じて外出の自粛傾向が続いていたものの、令和3年度は中学生の参加が増え、令和2年度実績から倍増し、中高の割合では、中学生が7割を占める結果となった。

7 実施内容

(1) 学習支援

参加者が持参する教材を使い、個々の状況に応じて寄り添い型の支援を基本とした。

学校の宿題に取り組む生徒や定期試験の前後には、試験に向けた学習や試験結果の見直し学習をする生徒をサポートする様子が多くみられた。

また、参加者本人の希望で、1つ前の学年の教科書での学び直しや、数学の立体図形の問題で理解が進まない生徒には、模型を使って説明し、理解を助けるなど、支援者が丁寧に対応し、一人ひとりの希望や学習の進度に合わせた支援に努めた。

事業終了後には、毎回、支援者による振り返りを行い、参加者ごとの学習記録の作成及び情報共有を行うとともに、支援時の感染防止についても話題とし、各会場ごとの状

況に合わせて工夫しながら取り組んだ。

(2) 相談

本事業では、中高生と年齢の近い大学生等のボランティアや事業者スタッフが支援にあたっており、参加者にとっては、話しやすい雰囲気や関係性が醸成されている。

学習面では、勉強の仕方などの相談や、進路に関しての相談などを多く受けている。

参加者の中には、学校生活や家庭環境に起因して、困りごとやストレスを抱えている生徒もあり、気軽に話を聞いてくれる大人や、同じような経験をした先輩参加者からアドバイスを受けることなどで、安心感につながっている。

(3) 交流

コロナ禍にあり、ストレスを抱える中高生もいることから、令和3年度は、事業の中で、さまざまなイベントを実施した。イベントをとおして、日頃とは違う話題での会話がひろがり、ボランティア・スタッフが参加者の違う一面に気づくこともあり、参加者同士も共通の話題から仲良くなるなど、これまで以上に交流を深める機会となった。

イベントの中には、スタッフが自身の中高生時代のことや通っている大学の話などをする「キャリアトーク」などもあり、中高生が進路を考える機会ともなった。

また、3月11日に実施された「まなプレ会議」は、中学7年生の参加者が本事業をもっとよくしたいとの思いから提案し、実施された。当日の進行も提案者が行い、参加者、ボランティア、スタッフが自由に意見を出し合った。全体の話し合い後には、自発的にグループでの交流を行うなど、参加生徒が主体となったイベントを実施した。

〈令和3年度に実施したイベント〉

実施日	実施イベント	実施日	実施イベント
7月7日	七夕短冊飾り	12月14日	粘土
8月10日	数学講座	12月17日	ツリー・年賀状・コラージュ制作
8月17日	デッサン講座	3月4日	教えて！ボランティアさん (キャリアイベント)
8月4日、18日	うちわ制作	3月9日	スノードーム制作
10月6日	キャリアトーク		護身術講座
11月26日	頭の体操	3月10日	顕微鏡で見てみよう
12月3日	ナノブロック	3月11日	まなプレ会議
12月8日	キャリアトーク		



デッサン講座



まなプレ会議

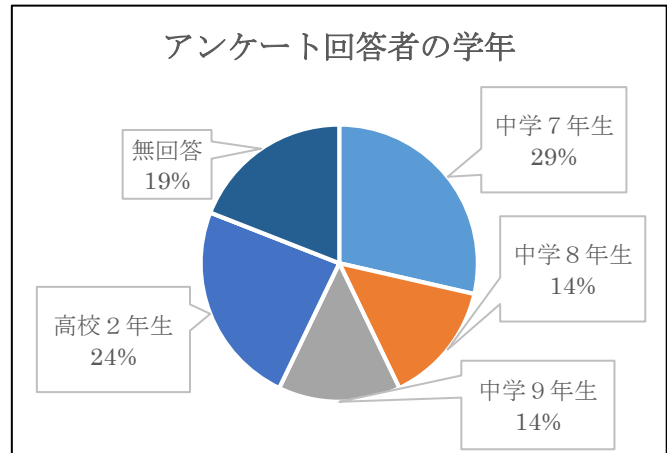
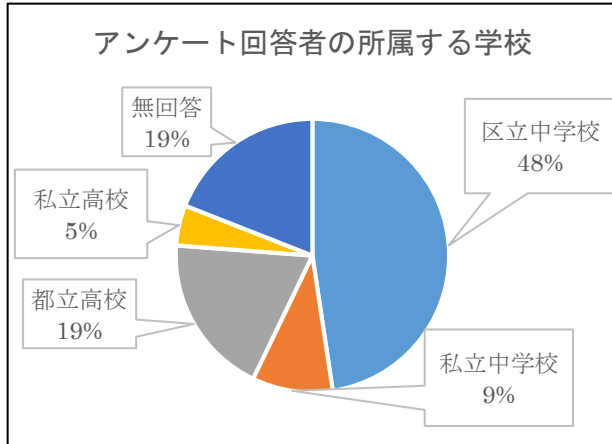
8 参加者に対するアンケート結果

(1) 実施期間・実施方法

令和4年2月から3月の事業実施中に、各会場で参加者アンケートを実施した。

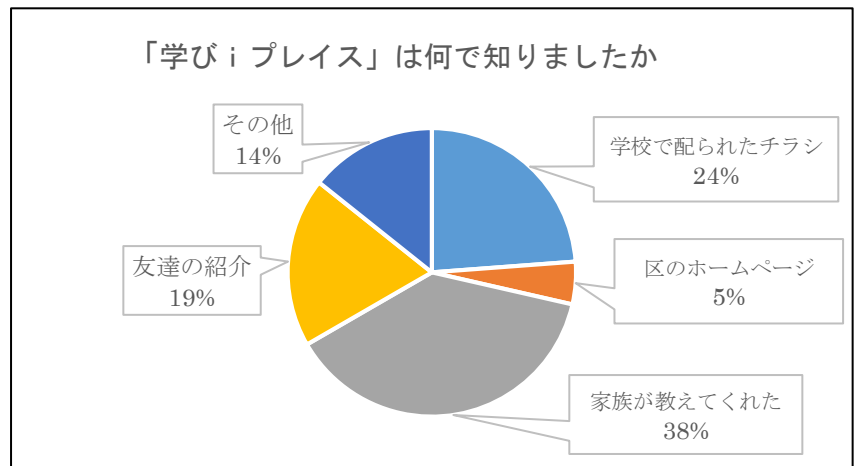
(2) 回答者について

回答者数21人

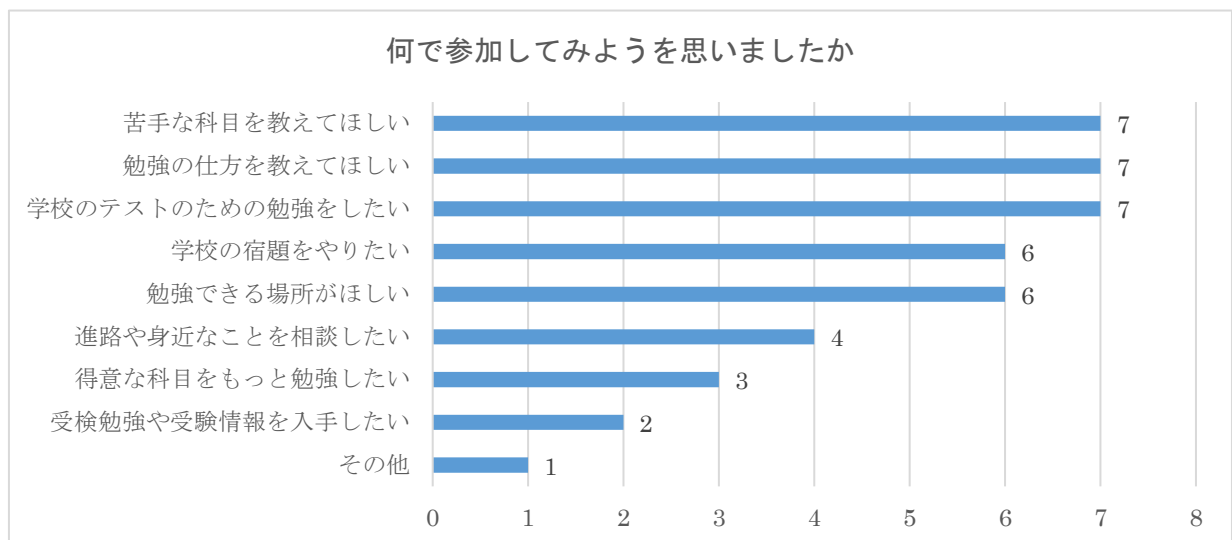


(3) 回答結果

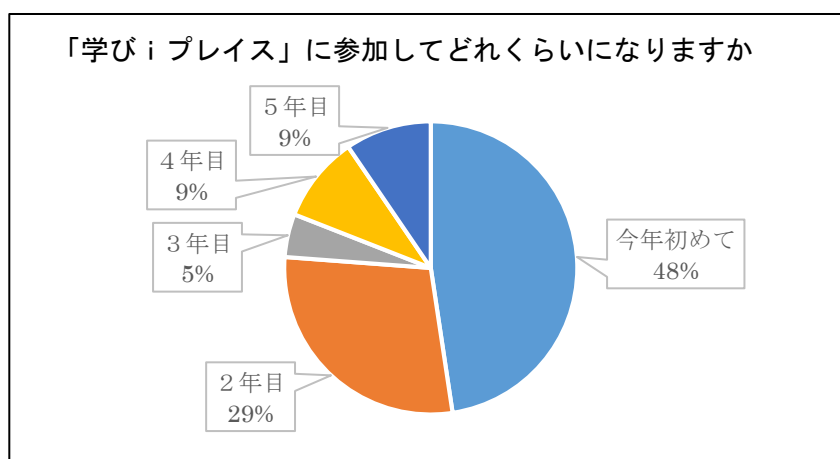
① 本事業を知ったきっかけ



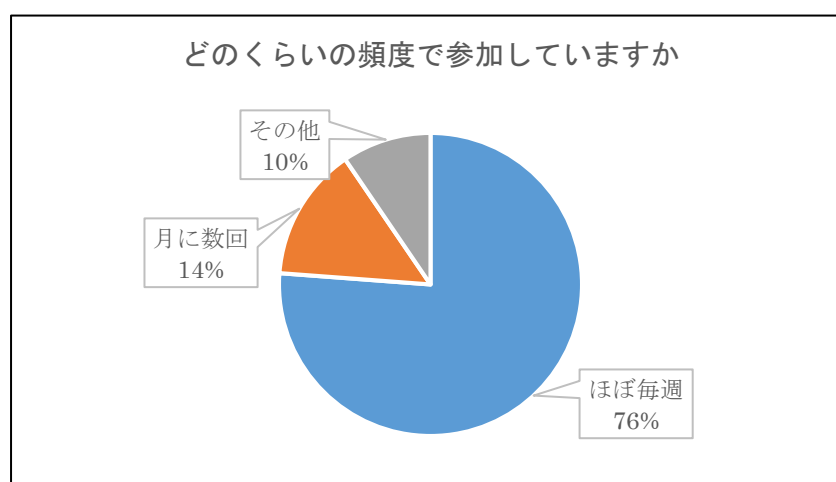
② 参加動機



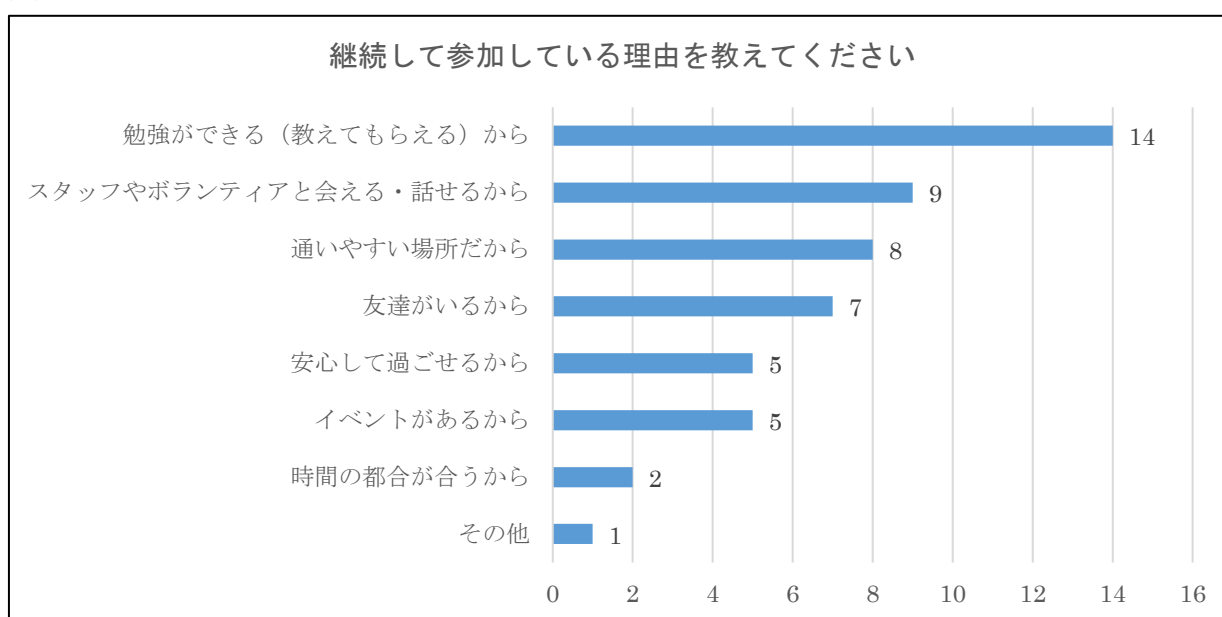
③本事業への参加歴



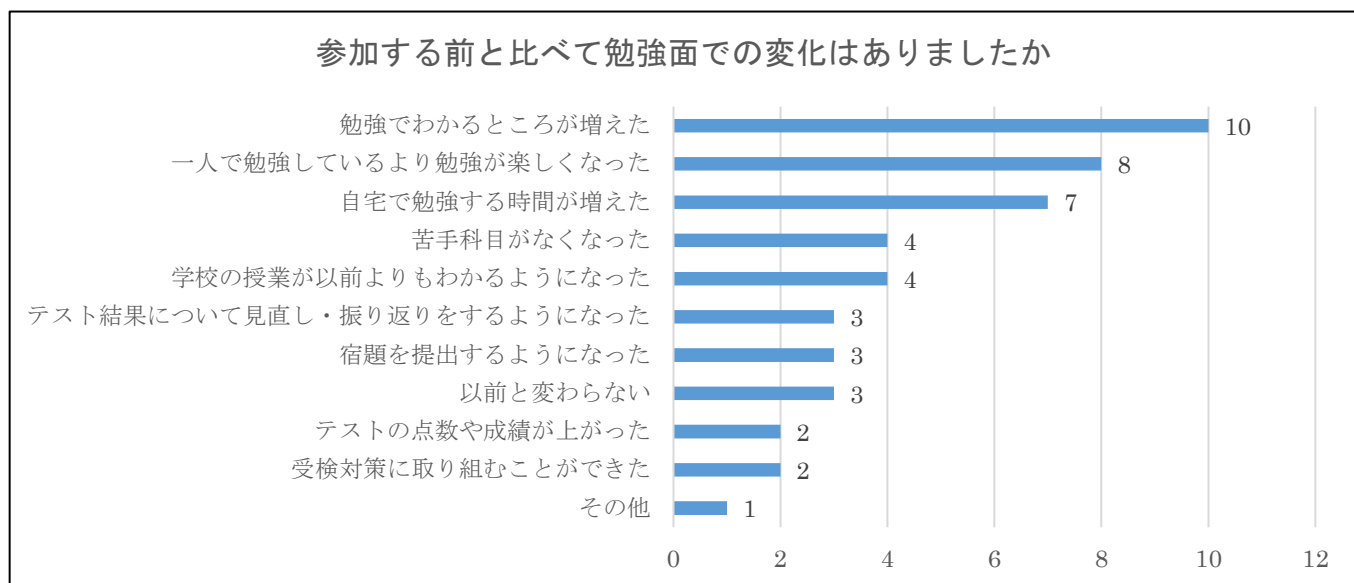
④参加の頻度



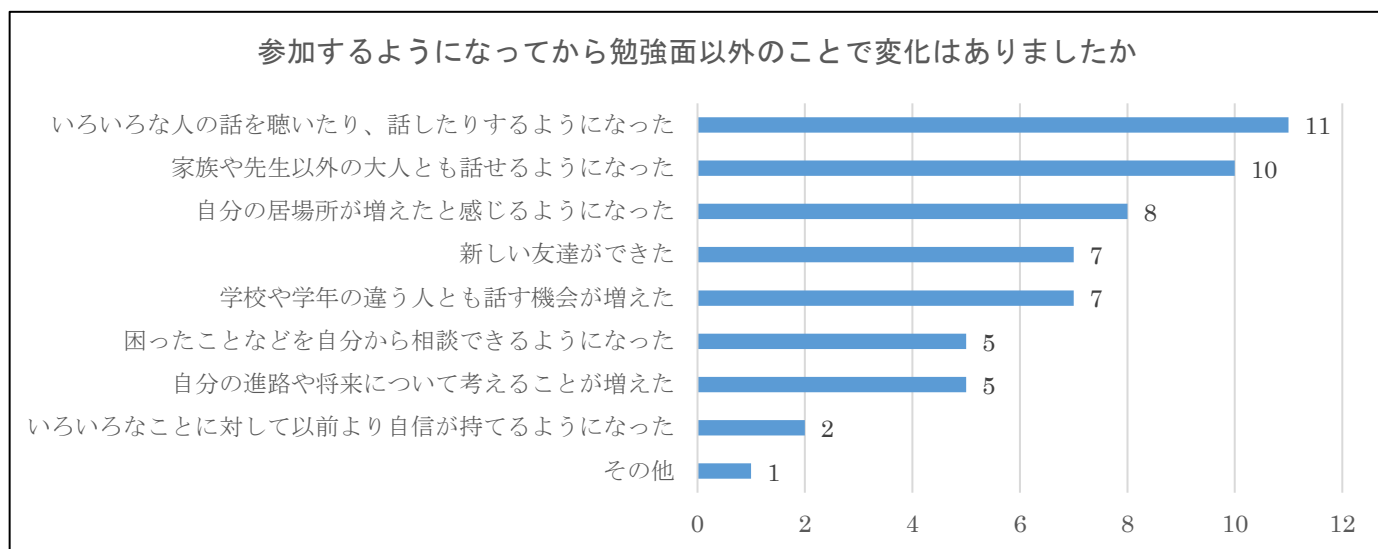
⑤継続参加の理由



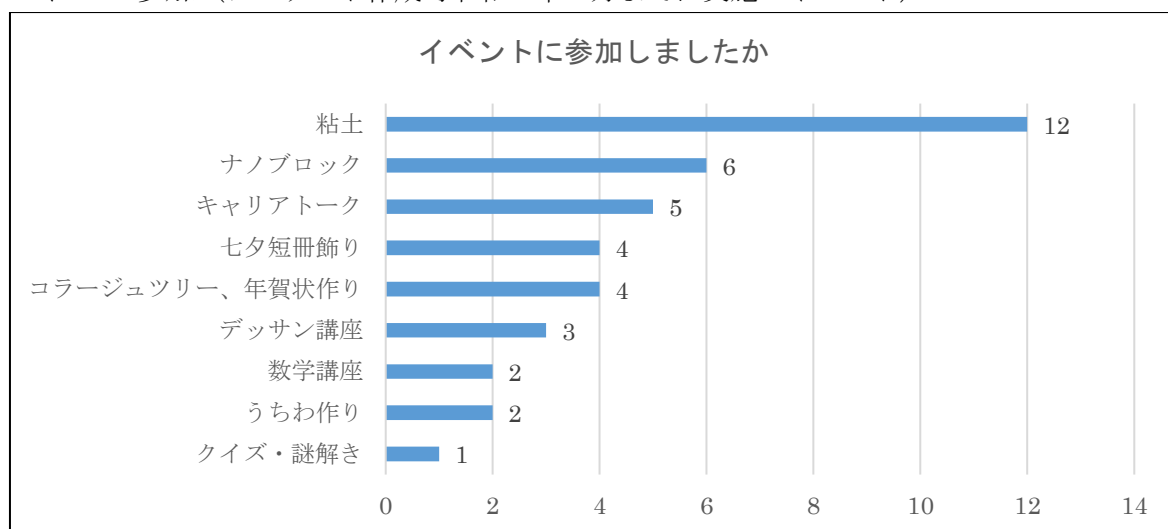
⑥勉強面での変化



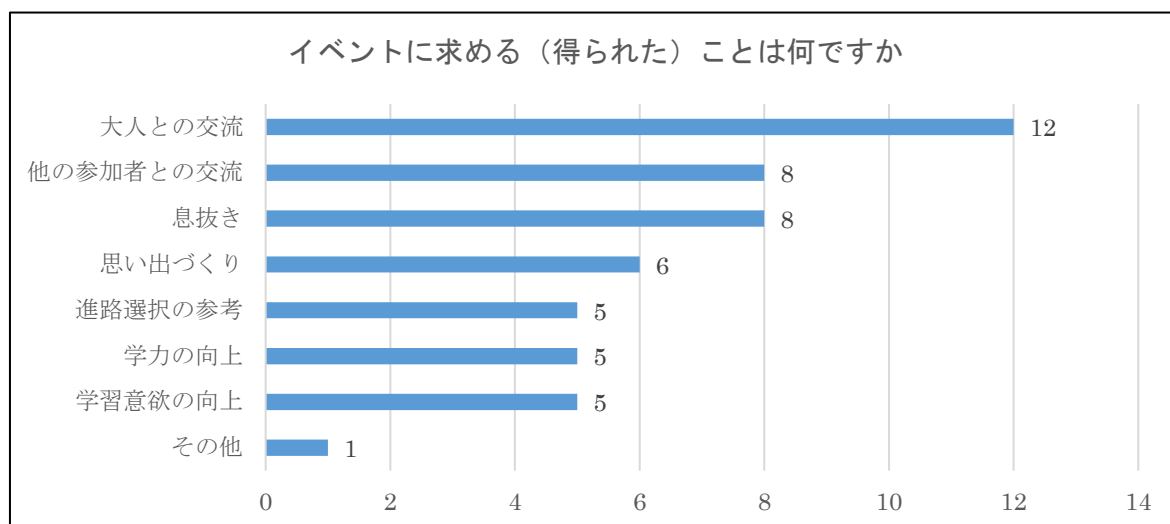
⑦勉強面以外での変化



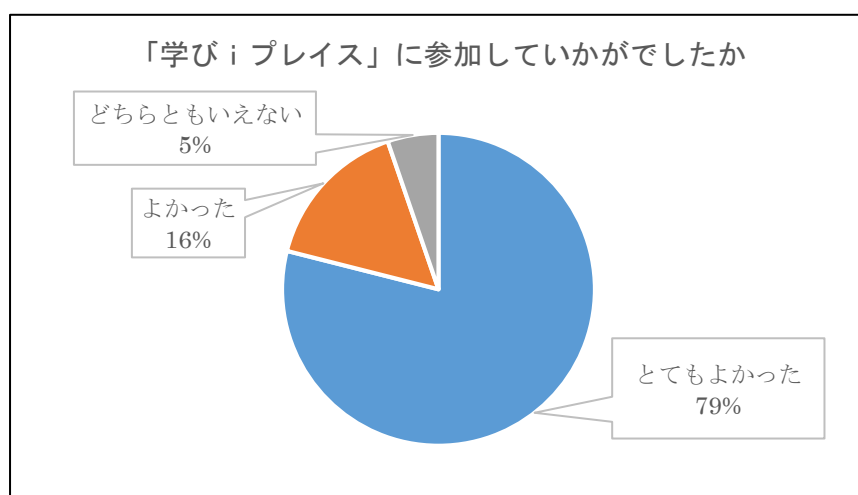
⑧イベントへの参加（アンケート作成時令和4年1月までに実施のイベント）



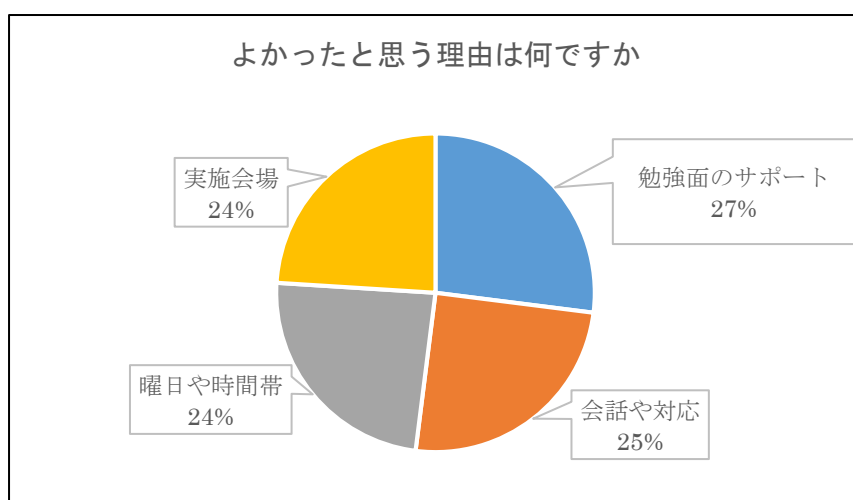
⑨イベントに求める（得られた）こと



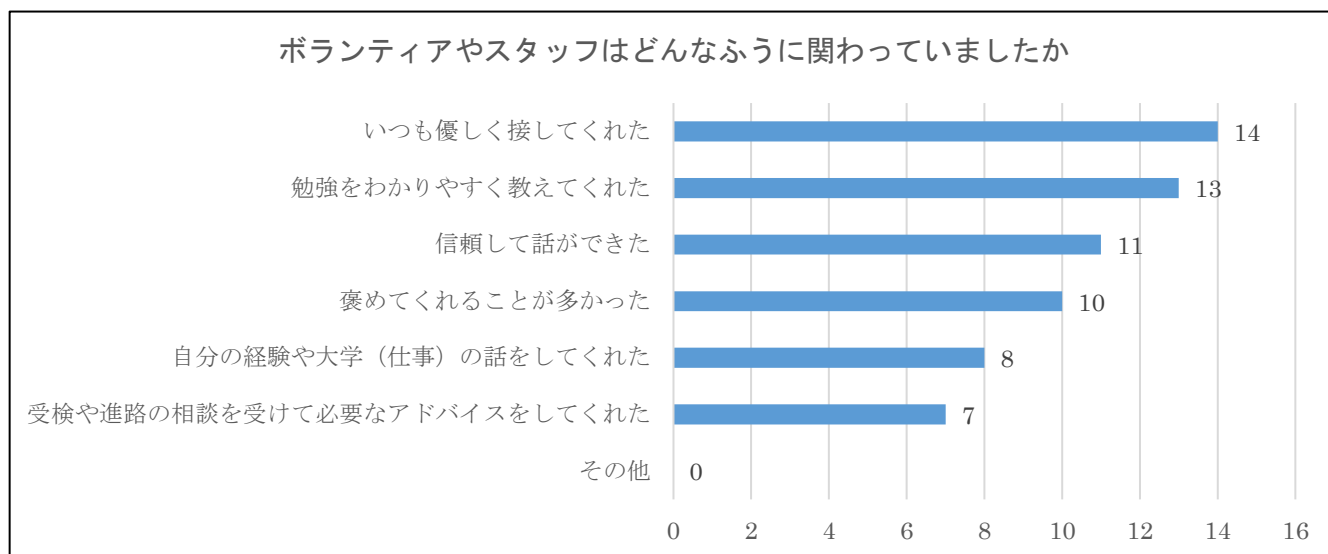
⑩本事業への評価



⑪評価の理由



⑫ボランティア・スタッフの対応



⑬自由意見

○楽しいです！毎回来たくなるような楽しさです！

○勉強の教え方がうまくて、わかりやすいです。ありがとうございます。

○一人ひとり先生によって個性があり、話もとてもおもしろいです。勉強でわからないところは最後まで教えてくれるのでとてもありがたいです。

○テスト後などにたくさんのイベントがあり、今後実施するスノードームや顕微鏡もとても楽しみです。

○いつも話を聞いてくれてありがとうございます。

○いろんな人がいておもしろい。

○毎週楽しみにしています。

○教科書に対応したワークや、漢検・英検の本を増やしてほしいです。数学のワークがとても多いのでやりごたえがあります。進路についてもくわしく教えてくれるので、受験について知ることができました。